

AI時代のソフトウェア派生開発セミナー

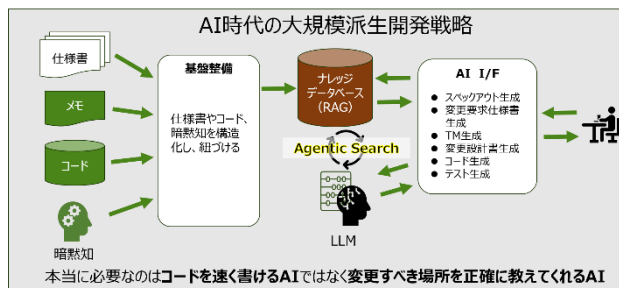
～人間とAIの強みを組み合わせよう！～

近年の生成AIの急激な進歩により、ソフトウェア開発の分野ではソースコードを直接記述するのではなく、AIに自然言語で指示を出すことで開発を行う「バイブコーディング(Vibe Coding)」が注目されていますが、ハルシネーション等による品質問題が実製品へ適用する際の障害になっています。

一方、ソフトウェア開発現場では新規開発の機会はほとんどなく、既存のソフトウェア資産（レガシーコード）に対する変更や機能追加を行う「派生開発」が多くなっています。派生開発には短納期化や部分的な理解での作業、ソースコードが古く劣化している等、新規開発とは異なる特有の難しさがあり、その品質問題を改善する手法として「派生開発に特化した開発プロセスXDDP (eXtreme Derivative Development Process)」が知られています。

本セミナーでは、AI時代に向けた派生開発の新しい取り組みについて解説します。

派生開発におけるソフトウェアの品質問題でお悩みの方は、ぜひ、この機会をご利用ください。



〇オンラインセミナーについて

本セミナーは、インターネット環境が整っていれば、自社内または自宅等での受講が可能なオンラインセミナー（※）です。インターネットを通じて、講義の受講だけでなく、講師への質問なども行う事ができます。これまで、距離や時間の問題で当センターのセミナー受講が難しかった方でも、技術を学んでいただけます。

（※）セミナー内容の録画・録音はご遠慮ください。

●日 時 令和9年1月15日(金) 14:00～16:15（13:30から接続可能です。）

●講 師 斎藤 賢一 氏（株式会社エクスマーション）

●会 場 オンライン開催（Zoomにより実施予定）

Zoomの利用に必要な環境・要件等はZoomのサイトをご覧ください。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023>

※Zoom接続中は、企業名と氏名を表示いただきます。ご承知おきください。

●受講料 無料（事前申込制）

●定 員 30名

●対象者 組込みシステム開発者の方（社会人）

●目 的 AIを活用した派生開発の効率化を学習する。

●前提知識 派生開発プロセスXDDPを知っていると理解が進みます。詳細は下記URLを参照。

<https://www.exmotion.co.jp/solution/xddp-1.html>

<https://affordd.jp/derivative-development/xddp/characteristic/>

●内 容

- ・派生開発プロセス XDDP概要
- ・AI時代における派生開発の問題
- ・AI時代の派生開発
- ・事例、デモ

申込締切 令和9年1月7日(木)

申込み方法は裏面をご覧ください。

○お申し込み方法

下記のWebサイトの申込みフォームより、お申し込みください。

申込み受付Webサイト：

<https://logoform.jp/f/WXhj5>



申込締切：令和9年1月7日(木)

※申込者には、開催日が近くなりましたらZoomの接続情報をお知らせします。

募集案内Webサイト：

https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/2026ai_xddp/



※セミナー内容の質の向上を目的として、セミナー終了後に受講者の上司の方にアンケートへの御協力をお願いする場合がございます。

【情報の利用及び提供の制限】

宮城県産業技術総合センターでは、本応募用紙で収集した情報について、研修やセミナー参加者への連絡・問い合わせへの回答に利用します。さらに、希望される場合のみ宮城県産業技術総合センターが主催する事業の情報配信に利用します。

また、宮城県産業技術総合センターは、本応募用紙で収集した情報は、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、第三者に提供いたしません。なお、講師の方々に対しては貴社名と参加者氏名のみ提供させていただきます。

●お申込み先及びお問い合わせ先

宮城県産業技術総合センター 機械電子情報技術部 電磁・信頼性評価支援班

担当 今井

〒981-3206 仙台市泉区明通2丁目2番地

TEL 022-377-8700

FAX 022-377-8712

E-mail kumikomi@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.mit.pref.miyagi.jp/?p=9972>